

産業建設委員協議会記録

開 会 年 月 日	平成 26 年 7 月 3 日
開 会 時 刻	午前 10 時 5 分
閉 会 時 刻	午前 10 時 29 分
出 席 委 員 名	◎宿 典泰 ○上田 修一 上村 和生 北村 勝
	辻 孝記 山根 隆司 杉村 定男 浜口 和久
	山本 正一
	世古口新吾議長
欠 席 委 員 名	
署 名 者	な し
担 当 書 記	中野 諭
協 議 案 件	第2次伊勢市総合計画（案）について
説 明 者	情報戦略局長、企画調整課長、その他関係参与

☆協議経過並びに概要

宿委員長開会宣言及び会議成立宣言後、直ちに会議に入り、協議案件として「第2次伊勢市総合計画（案）について」の説明を当局から受け、若干の質疑の後、聞き置くこととした。

なお、概要は次のとおりです。

開会 午前10時5分

◎宿 典泰委員長

ただいまから産業建設委員協議会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので会議は成立をいたしております。

本日、御協議願います案件は、「第2次伊勢市総合計画（案）について」でございます。

これより会議に入ります。

会議の進行につきましては、委員長に御一任をいただきたいと思います。

議員間の自由討議につきましても、先ほどと同じように随時行いたいと思いますのでお願いをいたします。

【 第2次伊勢市総合計画（案）について 】

◎宿 典泰委員長

それでは、「第2次伊勢市総合計画（案）について」を御協議願いたいと思います。

当局から説明を願います。

情報戦略局長。

●森井情報戦略局長

本日は、委員の皆様御多忙のところ、産業建設委員会に引き続きまして、協議会をお開きいただきことにありがとうございます。

本日御協議いただきます案件は、ただいま委員長から御案内のとおり「第2次伊勢市総合計画（案）について」でございます。

詳細につきましては、担当の企画調整課長から御説明申し上げますので、何とぞよろしく御審議のほどお願い申し上げます。

◎宿 典泰委員長

企画調整課長。

●辻企画調整課長

それでは、第2次伊勢市総合計画（案）につきまして御説明を申し上げたいと存じますが、申し訳ございません、資料のほうに一部記載誤りがございまして、恐れ入りますが、訂正方を申し上げます。

資料1-1の「3 パブリックコメントの実施（予定）」の「（1）期間」でございますが、最終日が8月9日土曜日となっておりますが、申し訳ありません、記載ミスで11日の月曜日でござ

いますので、訂正のほうをお願いいたします。申し訳ございませんでした。

それでは、第2次伊勢市総合計画（案）につきまして御説明を申し上げます。

資料1-1をごらんください。

「1経過」につきましては、関連する分野の委員15人で組織する総合計画審議会を4月30日から6月17日までの間に5回開催し、いただいた御意見を踏まえて資料1-2の計画案を作成しております。

「2計画の概要」のうち、「(1)構成」につきましては、御案内のとおり基本構想及び基本計画の2層構造としております。

基本計画は、「伊勢市の現況と予測」、「課題」、「取組方針」を記載いたしました「序章」、それから序章の内容を踏まえてそれぞれの分野で取り組むべき内容を示した「分野別計画」で構成をされております。

また、分野別計画は、記載のとおり、第1章市民自治・市民交流から第8章市役所運営までの8章で構成されています。

「(2)計画期間」につきましては、基本構想はこれまでどおり期間を定めず、基本計画は、平成26年度から平成29年度までの4年間としております。

それでは、主な内容について御説明申し上げますので、まず、資料1-2の表紙裏面、こちらに目次を記載しておりますが、こちらをごらんください。

計画案は、「第2次伊勢市総合計画の全体概要」、「第1部 基本構想」、「第2部 基本計画」で構成しております。

1ページから2ページ、こちらに「第2次伊勢市総合計画の全体概要」を記載しておりますが、こちらには「計画策定の趣旨」、「計画の構成及び期間」、裏面へお願いいたします、「計画の進行」、こちらを記載しております。

それから3ページから7ページの「第1部 基本構想」でございますけれども、こちらにつきましては、第1次総合計画を継承し「美し風起つ回帰新生都市」を目指す将来像としております。

恐れ入ります「第2部 基本計画」でございますが、先ほど御説明申し上げたとおり「序章」及び「分野別計画」で構成しておりますが、本計画の骨子となります「序章」について御説明を申し上げたいと思います。

まず12ページをごらんいただきたいと存じます。

12ページには「人口定住を促進させ、市民の幸福感や地域の豊かさを向上させるための取組を進め、子どもたちの笑顔があふれ、お年寄りが幸せな老後が暮らせるまちづくりを目指す」と、この計画の要旨を記載しております。

13ページをごらんください。

ここから「伊勢市の現況と予測」が記載しておりますが、まず、この中の伊勢市の将来人口、こちらにつきましては、少子高齢化や人口減少がさらに進行し、特に出産年齢の中心である20歳から39歳の女性人口が2010年から2030年までの20年間で3割を超えて減少するとしております。

15ページの「人口分散化の進行」では、居住地域が拡大、拡散している状況に言及をしております。

16ページでは、「南海トラフを震源域とする巨大地震の発生」や、大規模な祭典・社会資本整備など「第63回神宮式年遷宮までに伊勢市を取り巻く主な社会の動き」のほか、「市民ニーズ」といたしまして、防災・医療など命に関わる取り組みに関する優先度が高く、一方、公共交通、中

心市街地の活性化、雇用対策等の取り組みについては満足度が低いといった市民アンケートの結果を記載しております。

18 ページから 19 ページにかけまして「財政収支見通し」を記載しております。こちらには平成 29 年度までの歳入・歳出を見通したものを記載しております。歳入におきましては、人口減少に伴う税収の減少、合併算定替えの終了に伴う普通交付税の減額が、また、歳出では、防災関係経費や学校統合、新病院建設、社会保障費の増加に係る経費の増大が見込まれるとしております。

こうした現況と予測から、本市の課題を大きくとらまえますと、20 ページから 22 ページに記載しておりますが、まず「子どもを産み育てやすい環境づくり」、卒の網掛けをかけておりますけれども、「超高齢社会に対応したまちづくり」、「集約型都市構造の促進」、「公共交通体系の整備」、「ポスト遷宮における産業振興及び担い手の確保」、22 ページになりますけれども「大災害への備え」であるいたしました。

23 ページをごらんください。

ただいま御説明申し上げました課題の解決に向けて、「命」「心」「暮らし」「誇りと調和」「自立と連携」、この 5 つをキーワードに「子どもたちの笑顔があふれ、お年寄りが幸せな老後が暮らせるまちづくりを目指す」ことを取組方針としております。

なお、この「命」でございますが、記載のとおり「命」は命を最優先に考えるまちづくり、「心」は、やさしさと感謝の気持ちを継承するまちづくり、「暮らし」は、豊かさを実感できるまちづくり、「誇りと調和」は、市民がまちに誇りを持ち、観光と市民生活が調和したまちづくり、「自立と連携」は連携と協力による自立したまちづくりでございます。

次に、分野別計画でございますが、こちらにつきましては、例えば教育振興基本計画、観光振興基本計画、都市マスタープランなど、既に個別分野の計画があるものについては、その内容を基本としております。

分野別計画は、章立てとし、章の下には節、また節にはそれぞれ取組方針を設けております。

恐れ入ります。28 ページから 29 ページ、ちょっと字が小さくて見にくくございますが、こちらは、分野別計画の体系図でございます。記載のとおり、8 章、35 節、また各部に設けられた取組方針、これは全部で 100 ございます。

各節には「現況」「主な課題」「取組方針」「主な取組」「指標」「他の章において特に連携する取組方針」で構成されております。

具体的に御説明申し上げますが、前後して申し訳ありません。26 ページ、27 ページをごらんください。

こちらに「第 1 章市民自治・市民交流」の「第 1 節地域コミュニティ」を例に、分野別計画の見方を記載しております。

まず、社会状況、国県等の動向、問題点を整理した「現況」、吹き出しになっておりますけれども。現況を踏まえ、取り組むべき課題を整理した「主な課題」、現況及び課題を踏まえての「取組方針」、27 ページにわたっておりますが、それと一連の流れで記載をしております。目指すまちの姿に近づいているかどうかを知るための指標については現状値と目標値を、また横断的・総合的に取り組むため、末尾には、「他の章において特に連携する取組方針」を記載しております。

個々の説明につきましては、割愛をさせていただきますが、本委員協議会の所管は、第 6 章産業・経済、それから第 7 章都市基盤になります。

恐れ入ります。資料 1 - 1 にお戻りください。

「3 パブリックコメントの実施（予定）」につきましては、この後、先ほど訂正をお願い申し上げましたが、7月11日から8月11日にかけてパブリックコメントを実施し、また8月4日から8日の間に、市内4カ所で説明会を行うこととしております。

「4 今後のスケジュール」につきましては、パブリックコメント実施後、8月中を目途に計画案の修正の検討、審議会の開催を経て、各常任委員協議会に最終案を御報告する予定でございます。

以上「第2次伊勢市総合計画（案）について」御説明をいたしました。

御協議のほど、よろしくお願い申し上げます。

◎宿 典泰委員長

ありがとうございました。

ただいま説明があったわけでありますけれども、何か、今の説明に対して御発言はありませんか。浜口委員。

○浜口和久委員

すいません、この1—1の資料でございますが、3番でパブリックコメントの実施というふうな形で、7月11日から8月11日の約1カ月間、これ市民の方々に広く意見をいただくというふうな部分やと思います。その中で、3—3ですね、計画案の説明会、これが8月4日、つまり7月11日からパブリックコメントをかけてするのに、説明会が8月4日から8月8日の市内4カ所ですから、そのうちの4日間というふうな部分やと思うのですが、広く市民の方々の意見をいただくというふうな形であるのであれば、この計画案の説明会をもっと早いことできないのですか。それで、ぎりぎり8月4日から8日ぐらいのときに説明会をして、そして結局締め切りが11日と。そうすると広報の仕方によって、パブリックコメントが実施されておったことも知らなかったというふうな状況になっても困るので、そこら辺どのようにお考えなのかちょっとお聞かせください。

◎宿 典泰委員長

課長。

●辻企画調整課長

確かにパブリックコメント、広く市民の皆様方から御意見をいただくということでございます。

今回この総合計画の策定につきましては、本年2月の協議会におきまして9月までに策定をさせていただき、議会のほうにも御報告をさせていただきということでこれまで進めてまいりました。各委員協議会でこのことについて御協議をいただいた後ということで、7月11日から始めさせていただきました。

広報の8月1日号にも掲載をさせていただき予定でおりますので、この各会場での日の設定というのは、広報の発行も想定しながら私どもとしては、これがベターといたしますか、ベストといたしますか、設定をしたところでございます。そうした中で、なるべく多くの方々にこれを知っていただく事前の周知が大事になってこようかと思っておりますので、その辺りはいろんな方法を考えさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

◎宿 典泰委員長
浜口委員。

○浜口和久委員

すいません、8月1日号の広報ということで今言われました。これ7月11日からパブリックコメントということであれば、広報も7月にもう1回、15日ぐらいに出るんじゃないですかね。それはどう考えておったんですかね。

◎宿 典泰委員長
課長。

●辻企画調整課長

おっしゃるように、7月15日号の広報のほうも考えておりましたけれども、確認をいたしましたところ、広報が市民の皆様が届くのが、4日、明日ぐらいからということでございまして、協議会のほうで、まだこの件については協議をいただいておりますということで、広報の7月15日号は見合わせていただいたということでございます。

◎宿 典泰委員長
浜口委員。

○浜口和久委員

わかりました。これ結構、2月の協議会でお話をされて、これを9月までに策定というふうな状況の中で、かなりタイトな状況の中で審議会もこれ5回開催していただいてというふうな部分で、日にちがなかったというふうな部分もわかるのです。そうやけれども、パブリックコメントとしてですね、市民の方に広く意見をいただきたいという状況なのに、何か見てみますと、形だけパブリックコメントをやったよというふうな形にみえてしまうような部分があるんですわ。ここら辺の部分を計画案の説明会、なるべく、できるだけですな、もうちょっと早い目にやっていただいて、市民周知をしていただいてというふうなことで、できるだけでしか仕方がないとは思いますが、そこら辺のところをしっかりと考えて、幅広く市民の方の意見をもらえるようにしていただくようお願いをいたします。以上です。結構です。

◎宿 典泰委員長

いいですか、ええの、答弁できるの、はい、課長。

●辻企画調整課長

おっしゃるようになるべく多くの方に、特に事前周知は大事かと思っております。今回広報の日程の関係もございまして、ですので、例えば記者会見のほうでもこのお話は当然させていただきますし、例えば各種団体のほうから審議会委員に就いていただきましたので、またその団体を介しているんな方々にお声がけをいただいたり、例えばまちづくりの取り組みの中で地区担当職員さんが地域のほうにも出向いていただいておりますので、そういったところで情報提供などをさせていた

だきながら、広く市民の皆様方にこのことがわかっていただけるように事前周知のほうに努めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

◎宿 典泰委員長

よろしいか、はい。

他に御発言はありませんか。

どうぞ。

○辻 孝記委員

少し、同じところになりますが、先ほど浜口委員からスケジュールのことを言われました。私もこれ心配しているのは、これだけ膨大な資料になるわけですね、市民からみたら。我々でもそうですけれども、膨大な資料を1カ月、期間があんまりわからない中でですね、市民がこれを読んでどういうふうに反応するかとか、これをインターネットのホームページから見てですね、ダウンロードしてやっていくという話になるかと思いますが、そういったことの手間とかも含めてですね、なかなか一市民から見ると難しい状況になると思うのですが、こういった総合計画は、どうしても9月議会でないと難しくなるというスケジュールになるのでしょうか。

◎宿 典泰委員長

局長。

●森井情報戦略局長

各委員さんから広報、それから市民の皆様方からの御意見をいただくということにつきまして御心配いただきありがとうございます。必ず9月議会までにとということではございませんけれども、これまでの総合計画策定の方法論、時期的なことの経過の中で、いちおう9月を目途にとということで話を進めさせていただいております。

それから今回庁内的な検討会、それと各総合計画審議会の中での部分でも、その辺のところも申し上げながらタイトに、それで場外といいますか、審議会以外のところでも結構汗を流していただきながら進めてまいりましたので、できましたら今後の伊勢市の26年度を初年度としておりますので、できる限り早い段階で総合計画という形に整えたいという思いがございます。

先ほど課長からも説明がありましたように、期間的には30日ということでパブリックコメントは進めたいなというふうに思っております。それと、記者会見、10日でしたか、ありますので記事の掲載のほうもお願いをしながら、なるべく市民周知に努めてまいりたいと思いますので、何とぞよろしくお願いいたします。

◎宿 典泰委員長

辻委員。

○辻 孝記委員

心配しているのが、要するにガス抜きのような形でですね、単にやりましたではいかんと思っております、その辺のところを市民がどこまで関心をもってもらえるか。ある程度上位計画になりま

すので、これを無視するという事はなかなかできなくなるので、このところをおさえていくためには、やっぱり市民の方々に、どんだけの方々にこれを知ってもらうかという広報というかですね、大事な事になってくるものですから、できましたのでブーンと出しました、市民に渡しました、それでですね、オッケーという形というのはなかなかかなりにくい部分があるかと思っております、その辺、時間は確かに厳しいところがあるかと思えますし、一生懸命やってもらったと思いますが、例えば逆算をしていただいて、この日までには、ちゃんとここまでやっておかないかということが本来考えるべきことであつたかというふうに思っておりますが、そのところはどんなふうにこの委員会の方々も審議会の方々も見解をお持ちなのでしょう。

◎宿 典泰委員長
課長。

●辻企画調整課長

先ほど申し上げましたように、9月の議会というふうな前提でスケジュールのほうも設定をさせていただきました。ですので、4月30日から大変タイトな日程、6月17日までに5回を開催させていただきました。2週間に1回のようなペースです。この間、先ほど局長のほうからも話がございましたけれども、会議の場だけではなく、それぞれの、私どもの部長が、関係団体の委員の方々とも意見を伺いながら、会議の場以外のところでもかなり調整をさせていただいて、結果として審議会のほうから最終的にこの案でということ提案をさせていただくことになりましたので、その辺りは審議会の委員の皆様にも御理解をいただいた上で進めさせていただいたということでございます。

なお、その事前周知につきましては、今回一般的な媒体以外に市内4カ所で説明会をさせていただくというのは、我々としましてできる限り、市民の皆様とお会いしてお話をさせていただければということで、私どもとしては、この辺りでできるだけ多くの方に知っていただくというふうに考えて設定したところでございますのでよろしくお願いをいたします。

◎宿 典泰委員長
辻委員。

○辻 孝記委員

まあ、これ、私今ここで論議しておつてもしょうがないかと思っておりますが、ちょっとしっかりと考えていただいてですね、他の委員会等もありますので、そこで御意見も聞いていただいて、しっかりとした考え方をもってもらいたいというふうに思います。結構です。

◎宿 典泰委員長
他に、はい、副委員長。

○上田 修一副委員

先ほどから、スケジュールとか、内容のパブコメについてのお話があると思うのですが、先ほど言われた期間と説明会のそういう若干のいろんな広報紙の関係でずれておるといふ話もわかるの

ですが、それでは、もう少しですね、そういうことであれば、もっと身近な、皆さんの親しみやすい形で見ていただくという、まあ結局パブコメというのは、先ほど言われておるようにガス抜きみたいな感じやと言われていますが、それにならないための工夫というのがですね、前回こうやったからという、そのパブコメのやり方というのは、今回こうしようかというような工夫も見られていないし、あっちやこっちやでやります、やりますと言っておるけれども、時間的にほとんど難しいような状況になると思います。ですからもう少しこれを、全部、この案というのを見てですね、市民に納得させるというのではなくて、もう少し、ダイジェスト版とか、そんな感じをですね、考えていないですか。

◎宿 典泰委員長
課長。

●辻企画調整課長

現在のところはそのまま提案をさせていただこうかなというふうに思っておりましたが、時間的なこともございますので、一度検討はさせていただきたいと思います。

◎宿 典泰委員長

よろしいか、はい、よろしいね。

他に御発言もないようでありますので、本件についてはこの程度で終わります。

以上で、御協議願います案件は終わりましたので、これをもちまして産業建設委員協議会を閉会いたします。

閉会 午前 10 時 29 分